



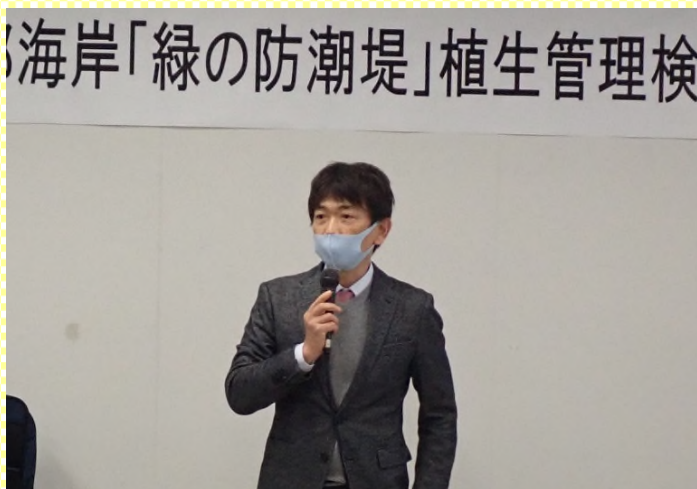
「緑の防潮堤」の取り組み



12月10日(木)仙台河川国道事務所において、仙台湾南部海岸「緑の防潮堤」植生管理検討委員会が開催されました。

本委員会は「緑の防潮堤」の維持管理に必要な高度な専門知識に基づく指導や助言を有識者の皆様からいただくことを目的に設置されたもので、5回目となる今回は、これまでの調査結果をもとに「防風柵の有無の影響」「緑の防潮堤に適した植栽法」などについて意見が交わされました。

また、それら調査結果や今まで委員の皆様からいただいたご意見への対応等を取りまとめ、今年度中に維持管理マニュアルの最終案を策定することについて承認されました。



▲委員長の挨拶



▲検討委員会開催の様子

「緑の防潮堤」とは？

コンクリートで被覆された海岸堤防の法面に盛土や植栽し、樹林と盛土が一体となって津波や高潮による、堤防の洗掘やコンクリート部の流失を抑制する粘り強い構造の堤防として試験施工している施設で、岩沼海岸（蒲崎・二の倉工区）、山元海岸（中浜工区）にあります。

